

6 事業コスト						(単位：千円、人)	
区分		予算額				決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)		
R8年度	予算案		384,309		384,309	354,319	14.0
	要求		385,345		385,345	355,313	
R7年度		0	350,238	0	350,238	320,396	14.0
R6年度		0	389,911	△ 2,881	387,030	345,171	13.0
要求からの 主な変更点		・市町村D X 推進支援事業について、事業費の精査により減額					

事業名	D X推進事業費	部局	企画振興部	課・室	D X推進課
-----	----------	----	-------	-----	--------

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	D X推進事業		112,788 千円	78,794 千円	予算案 79,607 要求 80,149 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	市町村D X推進支援事業	直接 委託	外部デジタル人材を確保し、個別の市町村におけるD Xの推進に係る状況を把握、分析するとともに、課題解決に向けた助言等を実施 伴走支援：30市町村		
2	信州次世代空モビリティ活用推進事業	直接 委託 補助金	産学官連携の「信州次世代空モビリティ活用推進協議会」を運営するとともに、次世代空モビリティ（ドローン、空飛ぶクルマ等）の先端活用モデル創出に向けて、企業・団体等が行う実証実験等に要する経費を補助 経費補助：4件		
3	デジタル活用支援推進事業	委託	デジタル活用に不安のある高齢者等を対象に、スマートフォンの基本的な扱い方をはじめ、スマートフォンを利用した行政手続等に関する助言・相談等を行う講習会を開催 講習会開催：10市町村		
4	データ連携基盤の運用	委託	県や市町村等が保有するデータを収集し統一形式に変換・集約する「データ連携基盤」を運用 活用促進に係る勉強会・WG開催：2回		

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	スマート自治体推進事業		277,123 千円	271,444 千円	予算案 304,702 要求 305,196 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	I C Tの活用による行政D Xの推進	直接 委託 補助金	・市内のI C T機器の整備や研修の実施によりテレワーク、W E B会議等の活用を促進 ・【拡】市内の業務効率化に向けた相談会等を通して、R P A、A I音声文字起こし、電子申請、ローコードツール等のI C Tツールの利活用を促進 ・先端技術活用推進協議会の枠組みを活用しながら、市町村自治振興組合と連携して市町村行政事務のD Xを促進 協議会WG等実施：10回		
2	公的個人認証サービス負担金	負担金	公的個人認証サービスの運営費用を負担 （負担先：地方公共団体情報システム機構） 1者、44,554千円		